

平成22年度私立学校初任者研修 全国研修会（東日本）実施概要

薄曇りの空の下、初任者たちがやって来た。ある者は大きな荷物を背負い、またある者はキャリーバッグを引きながら、やや緊張した面持ちで受付に立った。

本年度の初任者研修全国研修会（東日本）が、10月22日（金）から23日（土）の2日間、クロスウェーブ船橋（千葉県船橋市）で開催され、定員を満たす60名の初任者教員が受講した。

初日は、日本航空客室乗務員の経歴を持つ（株）ミズ・インターナショナル代表、水元澄子氏を講師に迎えて、講義と実習を行った。テーマは「企業から学ぶービジネスマナー入門ー」で、名刺交換やお辞儀の仕方など、具体的な実習が行われた。



1泊2日の合宿研修では、夜間も研修が行われる。夜7時から9時までは、少人数のグループに分かれての討議である。各学校での生徒指導上の悩みや、授業の進め方など、若い教員たちは、時を忘れて熱心に議論していた。



研修2日目。この日は2本の講演と実習が行われた。一つは、京北高等学校校長の川合正氏による「学校教育相談とカウンセリング入門」。もう一つは、元向上学園理事長、清水秀樹氏の「明日から役立つ生徒指導」であった。

また、小学校教員に対しては、別メニューが用意され、当研究所の大森隆實研究員の指導のもと、模擬授業が行われた。小学生に模した他の受講者の前で、国語の授業を行い、授業の進め方を客観的に見つめる機会を持った。

午後4時からの閉会式では、修了証が手渡され、2日間の研修を終了した。

（高山博通）